JAHP
日本人間性心理学会
The Japanese Association for Humanistic Psychology

日本人間性心理学会第44回大会

THREADS

世代を超えた対話



プログラム
・
発表論文集

開催日程 2025年8月29日㊎～31日㊐

開催場所 愛知淑徳大学　星が丘キャンパス

JAHP

The Japanese Association for Humanistic Psychology

日本人間性心理学会
第44回大会

大会テーマ

THREADS

世代を超えた対話

プログラム・発表論文集

会期 2025年8月29日(金)～31日(日)

会場 **愛知淑徳大学 星が丘キャンパス**
愛知県名古屋市千種区桜が丘23

大会準備委員長 **田中 将司** 東海大学

事務局長 **並木 崇浩** 愛知淑徳大学

INDEX

ご　挨　拶 …… 1

日本人間性心理学会第44回大会　開催概要 …… 2

会場へのアクセス …… 3

会場案内図 …… 4

大 会 日 程 …… 7

参加者の皆さまへのご案内 …… 10

参加者の皆さまへ …… 13

発表者へのご案内 …… 15

自主シンポジウム企画者へのご案内 …… 17

座長の先生方へのご案内 …… 18

大会準備委員会企画・
ロジャース賞受賞記念講演一覧 …… 19

ワークショップ一覧 …… 21

自主シンポジウム一覧 …… 22

口頭発表一覧 …… 24

ポスター発表一覧 …… 30

発表論文集

- 大会準備委員会企画 …… 34
- ロジャース賞受賞記念講演 …… 40
- ワークショップ …… 44
- 自主シンポジウム …… 58
- 口頭発表 …… 70
- ポスター発表 …… 106

索　　引 …… 122

大会準備委員会 …… 124

協賛ご芳名・賛助会員 …… 125

日本人間性心理学会　歴代大会一覧表 …… 126

ご　挨　拶

日本人間性心理学会第44回大会
大会準備委員長　**田中　将司**

日本人間性心理学会第44回大会は、2025年8月29日（金）～31日（日）の3日間、愛知淑徳大学星が丘キャンパス（愛知県名古屋市）にて開催されることになりました。大会テーマは『THREADS ―世代を超えた対話―』です。

本大会準備委員会は、2023年11月に開催された、人間性心理学若手の会運営メンバーを中心に構成されています。私たちは、本学会と人間性心理学という学問に、熱心に向き合ってきました。学会で感じる温かさと人のつながり、個別性、多様性を大事にする学問のあり方に希望を感じ、これからも学会や学問に貢献していきたいと考えています。

しかしながら、熱心に向き合う中で、のっぴきならない課題や不安に衝突しています。人間性心理学の担い手がいかに育っていくか、人間性心理学の効果研究にどのように向き合うべきか、人間性心理学が考える善い社会とは何か、効率性によって失われる価値や、希薄になる人とのつながり、安全な生活を送ることが難しい社会情勢にどのような態度でいることが望ましいか、など。課題や不安は多岐にわたり、私たちだけではどうにも乗り越えることができません。

本大会は、私たちが立ち向かっている課題や不安を表現し、世代を超えて、共に考えていただきたい、対話したい思いを込めています。大会テーマのTHREADSには、「織り糸、光、脈絡、生命の糸」などの意があります。学会、学問に築かれたつながりや思いが、これからも続き、発展していけるよう、若手である私たちにお力添えくださいますと幸いです。また、この大会を機に若手のつながりがより充実すれば、と考えております。多くの皆様にご参加いただけますよう、お願い申し上げます。

日本人間性心理学会第44回大会　開催概要

テーマ

「THREADS ―世代を超えた対話―」

会　　期　2025年8月29日（金）・30日（土）・31日（日）

会　　場　愛知淑徳大学 星が丘キャンパス（名古屋市千種区桜が丘23）

主　　催　日本人間性心理学会第44回大会準備委員会

代　　表　田中 将司（東海大学）

大会HP　https://2025.c-jahp.com

E-mail　2025jhpc@gmail.com

大会日程

8月29日（金）
- 9:00～10:00　ラージグループ①：はじまりの会
- 10:30～17:00　ワークショップ
- 17:30～18:30　コミュニティ型企画

8月30日（土）
- 9:30～12:40　口頭発表
- 10:40～12:40　自主シンポジウム
- 10:40～11:40　ロジャース賞受賞記念講演①
- 13:40～14:40　総　会
- 15:00～17:00　準備委員会企画：シンポジウム
- 18:00～19:30　懇親会

8月31日（日）
- 9:00～12:10　口頭発表
- 10:40～11:40　ロジャース賞受賞記念講演②
- 11:00～12:00　ポスター発表
- 13:00～16:00　準備委員会企画：海外招聘講演
- 16:00～17:00　ラージグループ②：おわりの会

（詳細は「大会日程」のページをご覧ください）

協賛団体　株式会社 創元社、株式会社 木立の文庫、大幸財団、愛知淑徳大学

会場へのアクセス

会 場：愛知淑徳大学　星が丘キャンパス

〒464-8671 愛知県名古屋市千種区桜が丘23



名古屋駅 ― 地下鉄東山線 約18分 ― 星ヶ丘駅 ― 3番出口から 徒歩3分 ― 星が丘キャンパス

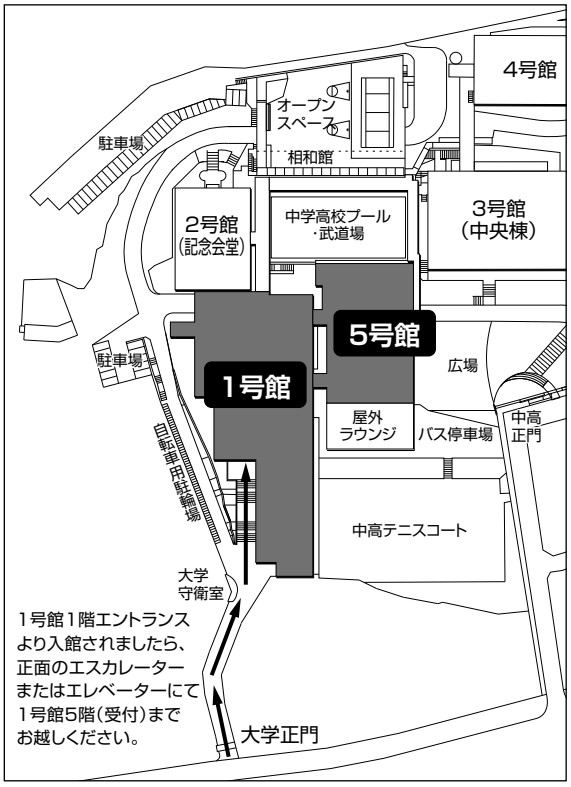
名古屋駅より地下鉄東山線「星ヶ丘」まで約18分。
「星ヶ丘」（3番出口）から徒歩約3分。3番出口で地上に出たら左に進んでください。

※車いすをご使用の方のホームから地上までの経路

ホームからエレベーター（EV.1）にて改札口フロアへ。

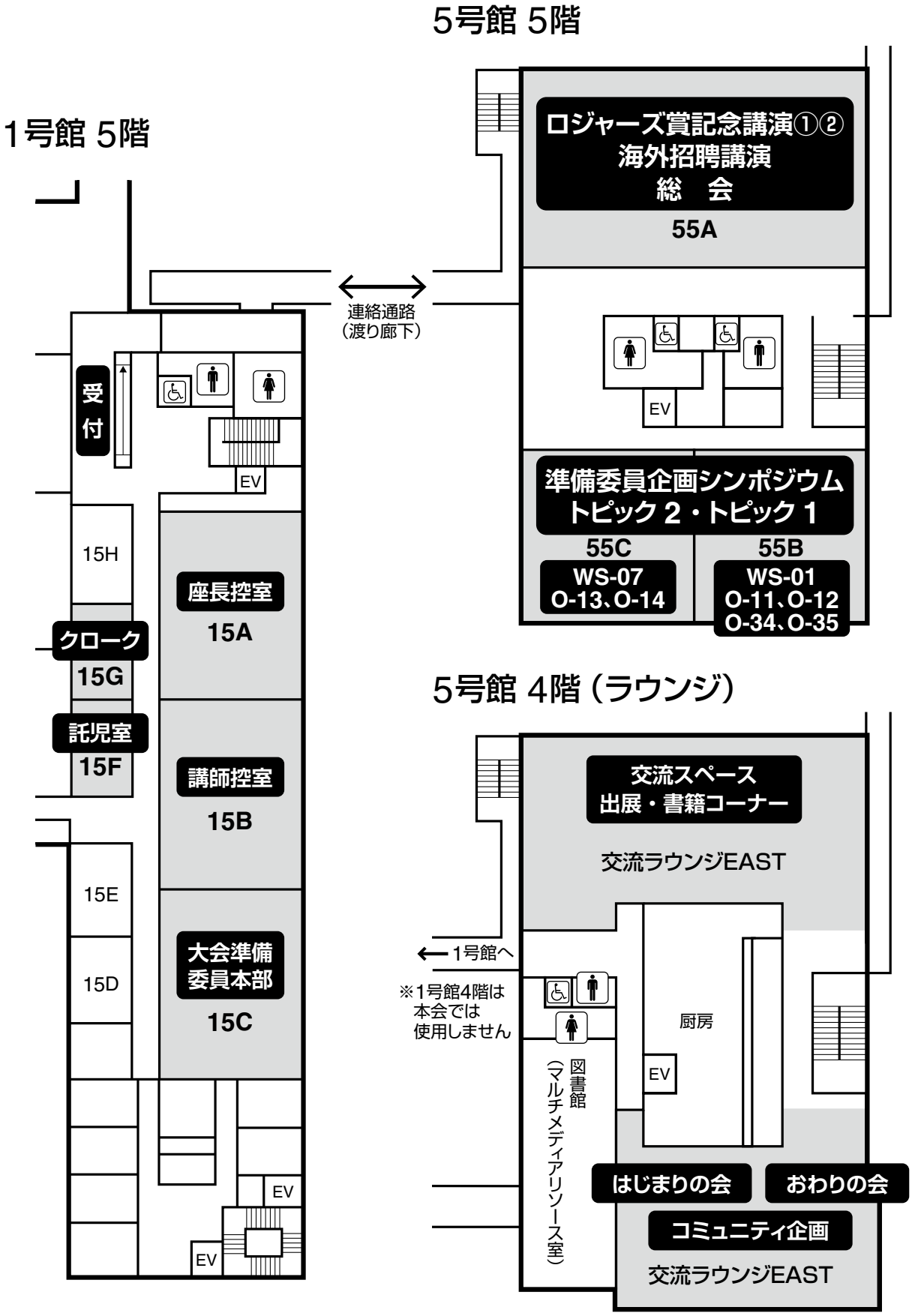
エレベーターに近い乗降位置は、高畑方面13番、藤が丘方面6番。

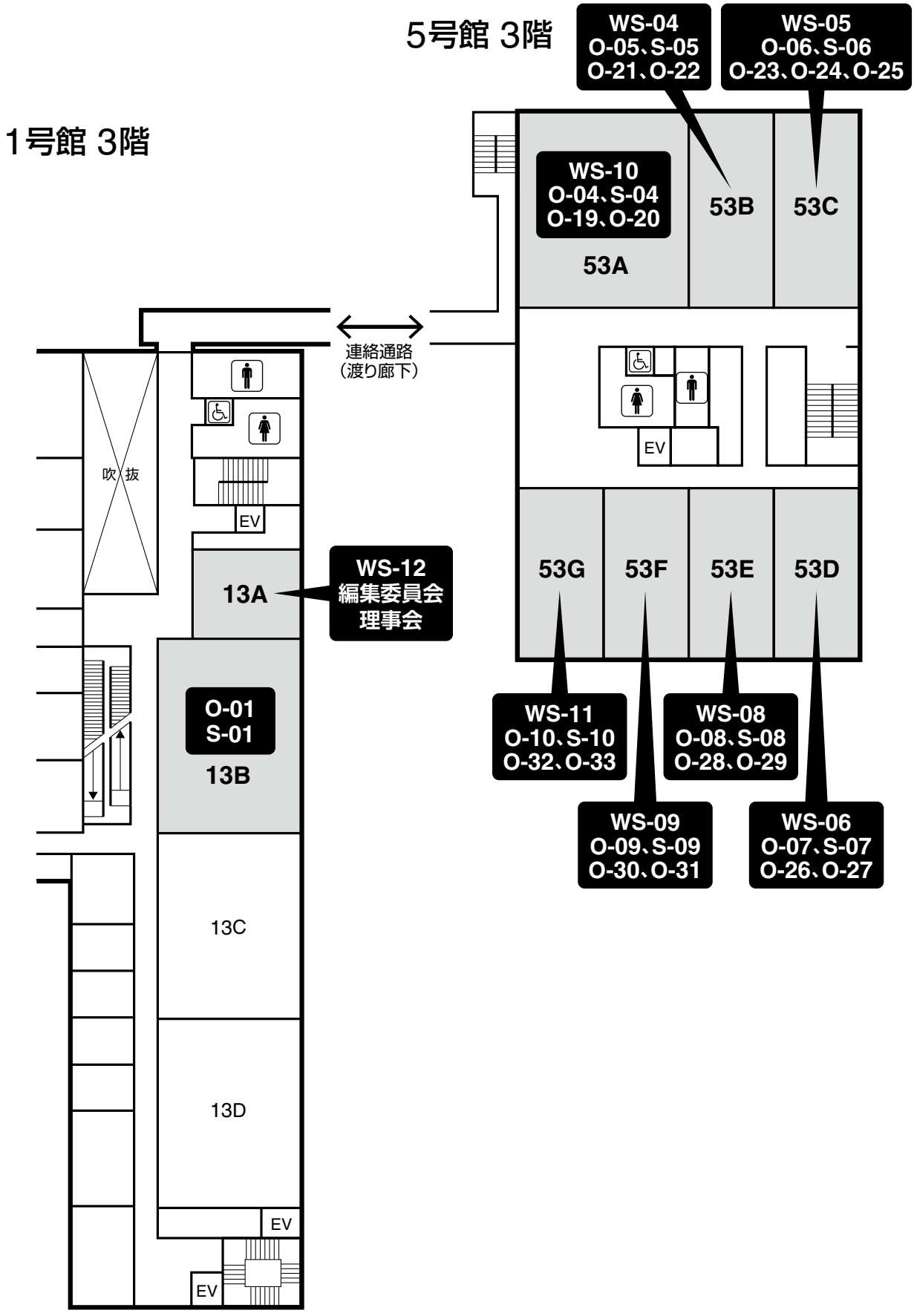
西改札口を出て、スロープを通って地上行きエレベーター（EV.2）にて地上へ（2番出入口付近・バスターミナル）。地上へ出たら左に進んでください（緩やかな登坂になっています）。



※今大会で使用する区域は、1号館(2階、3階、5階)、5号館(2階、3階、4階、5階)のみとなります。

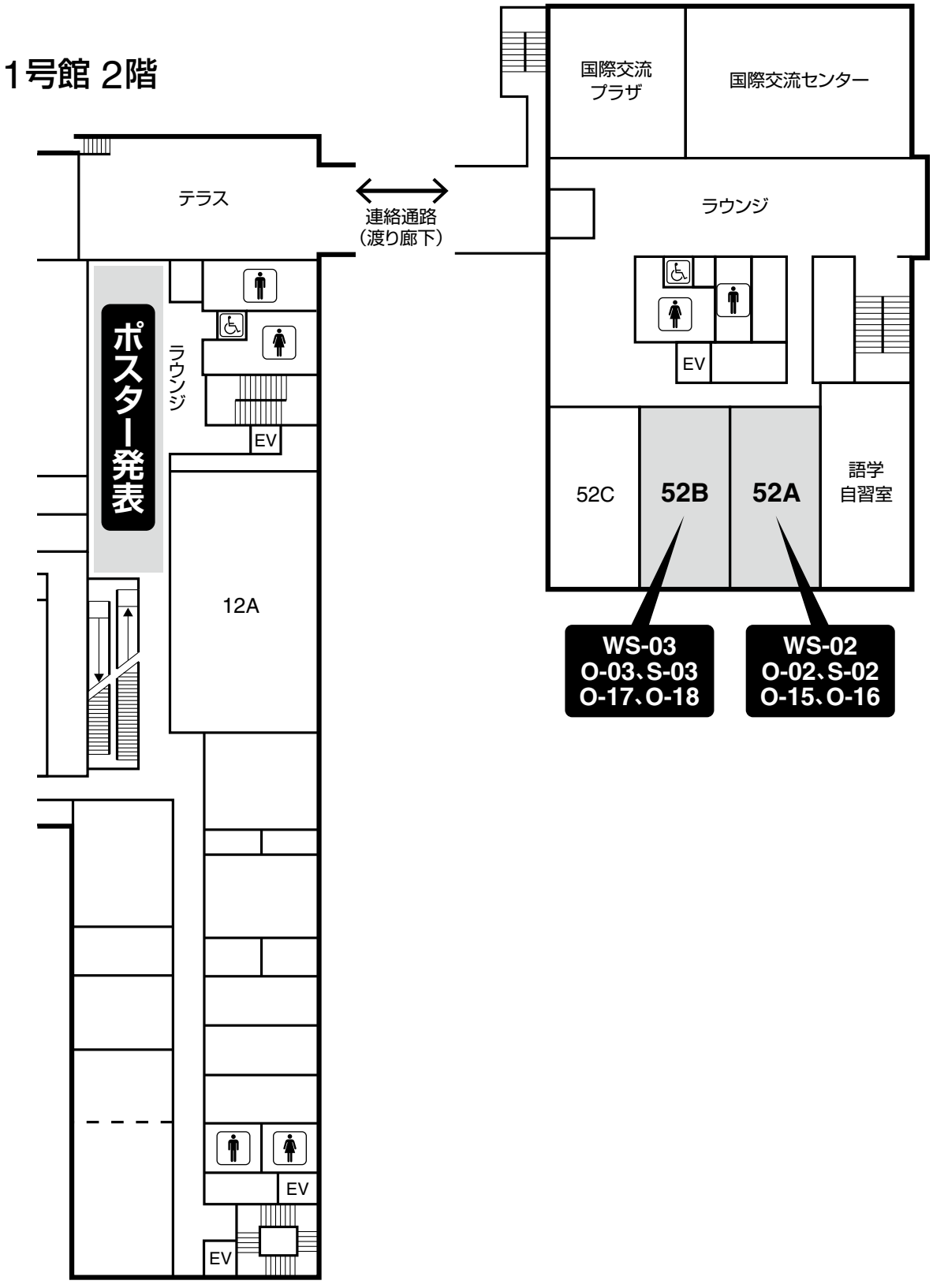
会場案内図


5号館 5階
1号館 5階
ロジャーズ賞記念講演①②
海外招聘講演
総　会
55A
連絡通路
（渡り廊下）
EV
受付
準備委員企画シンポジウム
トピック 2・トピック 1
55C
55B
WS-07
O-13、O-14
WS-01
O-11、O-12
O-34、O-35
15H
座長控室
15A
クローク
15G
託児室
15F
講師控室
15B
15E
15D
大会準備
委員本部
15C
EV
EV
5号館 4階（ラウンジ）
交流スペース
出展・書籍コーナー
交流ラウンジEAST
1号館へ
※1号館4階は
本会では
使用しません
厨房
EV
図書館
（マルチメディアリソース室）
はじまりの会
おわりの会
コミュニティ企画
交流ラウンジEAST


5号館 3階
WS-04
O-05、S-05
O-21、O-22
WS-05
O-06、S-06
O-23、O-24、O-25
1号館 3階
WS-10
O-04、S-04
O-19、O-20
53B
53C
53A
連絡通路
（渡り廊下）
EV
吹抜
EV
WS-12
編集委員会
理事会
13A
53G
53F
53E
53D
O-01
S-01
13B
WS-11
O-10、S-10
O-32、O-33
WS-08
O-08、S-08
O-28、O-29
WS-09
O-09、S-09
O-30、O-31
WS-06
O-07、S-07
O-26、O-27
13C
13D
EV
EV

5号館 2階

1号館 2階

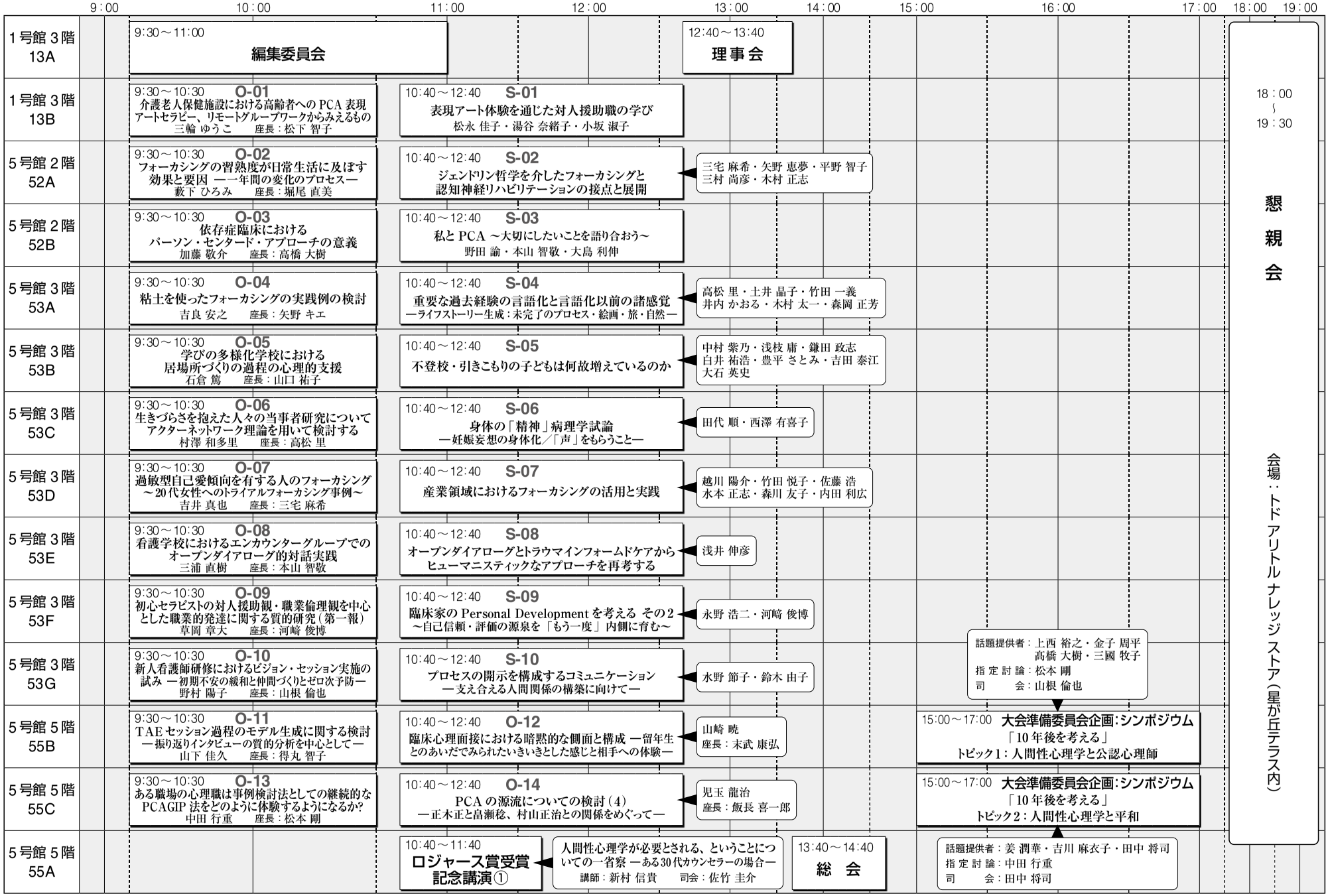

国際交流
プラザ
国際交流センター
ラウンジ
EV
52C
52B
52A
語学
自習室
WS-03
O-03、S-03
O-17、O-18
WS-02
O-02、S-02
O-15、O-16
テラス
連絡通路
（渡り廊下）
ポスター発表
ラウンジ
EV
12A
EV
EV

8月29日㊎　愛知淑徳大学 星が丘キャンパス

9:00　10:00　11:00　12:00　13:00　14:00　15:00　16:00　17:00　18:00

1号館3階 13A	10:30～17:00 **WS-12** クロスカルチャー・エンカウンターグループ 三國 牧子・Brian Rodgers
5号館2階 52A	10:30～17:00 **WS-2** 「私の研究」の作り方 ―研究目的の立て方から研究法の選び方まで 白井 祐浩
5号館2階 52B	10:30～17:00 **WS-3** 絵本作りプログラム 竹田 一義
5号館3階 53A	10:30～17:00 **WS-10** 私がプロデュースしているフォーカシングの特色 ～フォーカシングαや各種iFocusing～ 池見 陽
5号館3階 53B	10:30～17:00 **WS-4** 竹内敏晴氏の足跡から学ぶ、セラピスト・トレーニングの実際 定行 俊彰・中井 美彩子
5号館3階 53C	10:30～17:00 **WS-5** セラピスト・フォーカシング 吉良 安之
5号館3階 53D	10:30～17:00 **WS-6** 心理臨床におけるアートやイメージの活用 松下 智子
5号館3階 53E	10:30～17:00 **WS-8** オープンダイアローグの臨床哲学を生かした事例検討 大石 英史
5号館3階 53F	10:30～17:00 **WS-9** ゲシュタルト療法のエッセンスとその臨床応用 中尾 文彦
5号館3階 53G	10:30～17:00 **WS-11** 繊細な人のためのスピリチュアル・セルフケア 串崎 真志
5号館5階 55B	10:30～17:00 **WS-1** 日常におけるトラウマケアの知識と配慮 ―トラウマを刺激しない・余計に辛い思いをさせないために― 浅井 伸彦
5号館5階 55C	10:30～17:00 **WS-7** 一から学ぶジェンドリン哲学：心理臨床と哲学の接点 三村 尚彦
5号館4階 ラウンジ	9:00～10:00 ラージグループ はじまりの会 17:30～18:30 コミュニティ型企画 café & bar コムニタス

8月30日(土)　愛知淑徳大学 星が丘キャンパス



8月31日㊐　愛知淑徳大学 星が丘キャンパス

9:00　10:00　11:00　12:00　13:00　14:00　15:00　16:00　17:00

5号館2階 52A

9:00～10:30 **O-15**
サドベリー教育における対話実践の教育的意義
―PCA・ODとの比較を通じて―
渥美 藍　座長：大石 英史

10:40～12:10 **O-16**
クラウニングにおける「欠点が魅力に変わる」プロセスの検討：人間性心理学からみた「道化性」の臨床的意義
岡村 心平　座長：田村 隆一

5号館2階 52B

9:00～10:30 **O-17**
統合型スーパービジョンモデルを援用したカウンセラーの発達プロセスに関する探索的研究
相澤 秀一　座長：望月 洋介

10:40～12:10 **O-18**
セラピスト・フォーカシングにおけるケース理解の深まりとトレーニングへの応用の可能性
矢野 キエ　座長：平野 智子

5号館3階 53A

9:00～10:30 **O-19**
不登校問題を考えるXIII
～心理専門職養成課程の授業改善の試みから～
寺田 道夫　座長：大島 利伸

10:40～12:10 **O-20**
不登校と学校文化を考える
～しんどい子に視点をあてた学校・授業づくり～
進藤 昌浩　座長：田中 将司

5号館3階 53B

9:00～10:30 **O-21**
カウンセリングへの抵抗が強い大学院生を修了まで支えた事例 ～見立ての失敗・修正を経て見えてきたこと～
奥田 綾子　座長：小坂 淑子

10:40～12:10 **O-22**
橋本病とASDと強い不安を抱え、カウンセリングでは改善しないと話した高校生男児が把握感を得るまでの一例
坂本 和久　座長：松井 幸太

5号館3階 53C

9:00～10:30 **O-23**
ロジャーズの臨床哲学を探究する
―マルクスの用語「疎外」を手がかりとして―
泉野 淳子　座長：池田 豊應

10:40～11:10 **O-24** 恒松 聡一朗
11:10～11:40 **O-25** 濱村 星花
座長：内藤 裕子

O-24 効果検証に着目したPCAGIP法研究のナラティブ・レビュー：今後の展開に向けた示唆
O-25 過剰適応傾向の人へのセルフ・コンパッションプログラム作成の試み

5号館3階 53D

9:00～10:30 **O-26**
日常生活を圧倒する内的イメージへのコンタクトと気づきのプロセス ― 専門家同士のピアワークの音声録から―
吉野 真紀　座長：筒井 優介

10:40～11:40 **O-27**
セラピーにおける主体についての心理臨床的考察
廣瀬 幸市　座長：森岡 正芳

5号館3階 53E

9:00～10:30 **O-28**
紙媒体同人誌の実際と特徴
―コミュニティ形成の諸要因―
高松 里　座長：永原 伸彦

10:40～11:40 **O-29**
絵本作りプログラムの開発及び心理的意義
板東 充彦　座長：石田 妙美

5号館3階 53F

9:00～10:30 **O-30**
休学・留年経験をもつ学生のグループ活動実践
―共同調整の過程に注目して―
木内 理恵　座長：並木 崇浩

10:40～11:40 **O-31**
非意図的クリアリング・ア・スペースと体験過程の狭窄
星加 博之　座長：高橋 寛子

5号館3階 53G

9:00～10:30 **O-32**
東京都スクールカウンセラー大量雇止めの構造的問題に関する多面的分析
新田 泰生　座長：内田 利広

10:40～11:40 **O-33**
PCAを活かした保育者支援
～保育文化とファシリテーション～
三國 牧子　座長：浅井 伸彦

5号館5階 55B

9:00～10:00 **O-34**
限界状況における幸福の様相論からみた主観的幸福感尺度の課題
松崎 洋子　座長：小野 真由子

10:40～11:40 **O-35**
ロゴセラピーの現象学的基礎 ―フランクルとフッサールにおける心理学主義批判の接点―
赤木 裕昭　座長：竹井 夏生

5号館5階 55A

10:40～11:40
ロジャース賞受賞記念講演②
パーソンセンタードの本質とは何か?
講師：永野 浩二
司会：金子 周平

13:00～16:00 **大会準備委員会企画：海外招聘講演**
紡ぎ：ニュージーランドと日本におけるPCAの共通点と相違点
Interweaving Threads：Shared and divergent perspectives about the PCA in New Zealand and Japan
登壇者：Brian Rodgers・髙橋 紀子・押江 隆
司　会：並木 崇浩
通　訳：山崎 和佳子・矢吹 麻理奈

1号館2階 ラウンジ

11:00～12:00
ポスター発表

5号館4階 ラウンジ

16:00～17:00
ラージグループおわりの会

参加者の皆さまへのご案内

■参加受付

8月29日（金）～8月31日（日）期間中共通

※学会年会費を未納の方は至急ご納入ください。なお、大会受付でもお支払いを受け付けております。

【受付場所】 1号館 5階 エスカレーター上がってすぐ

【受付開始時間】 8月29日（金） 8：30～
8月30日（土） 9：00～
8月31日（日） 8：30～

【予約参加の方】

- 8月29日（金）ワークショップ参加者は、各ワークショップ会場にて受け付けます。
- 8月30日（土）及び8月31日（日）から参加の方は、参加初日に、受付にお立ち寄りください。

【当日参加の方】

必ず受付にて参加手続きをお願いいたします。参加証を受け取ったのち、大会にご参加ください。

【当日参加費】

大会参加費（論文集1冊分を含む）

正会員・準会員	10,000円
臨時会員（非会員）	12,000円
学生会員	5,000円
学生非会員	6,000円

ワークショップ参加費

正会員・準会員	9,000円
臨時会員（非会員）	11,000円
学生会員	5,000円
学生非会員	6,000円

【発表論文集の追加購入】

希望される方は受付でご購入ください。1冊3,000円です。

■懇親会について

【日　時】 8月30日（土）18：00～19：30

【会　場】 トド アリトル ナレッジ ストア（TT" a Little Knowledge Store）
名古屋市千種区星が丘元町16-50 星が丘テラス EAST 4F

※当日参加の受付もいたしますが、人数に限りがございますので、ご希望の方はお早めに受付までお申し出ください。

〈会場案内〉

3ページの会場へのアクセスをご覧いただき、まずは星が丘テラスの敷地内にお入りください。
向かって正面右手に星ヶ丘三越が見えます。そのまま上り坂を150メートル程お進みください。
雑貨店LOFTの黄色い看板のある建物が左手に見えます。
そちらの建物に入り、4階までお上がりください。

■クローク

必ず、時間内にお引き取りをお願いいたします。なお、貴重品はお預かりできません。

【場　　所】 1号館 5階

【開設時間】 8月29日（金）8：30～18：00
8月30日（土）9：00～18：00
8月31日（日）8：30～18：00

※8月29日（金）コミュニティ型企画（17：30～18：30）にご参加の方は、コミュニティ型企画が始まる前にお引き取りをお願いします。

■交流スペース

【場　　所】 5号館 4階 ラウンジ
詳しくは「参加者の皆様へ（p.14）」をご覧ください。

■大会本部

【場　　所】 1号館 5階 15C 教室

大会準備委員及び大会スタッフが待機しております。何かあればお気軽にお声掛けください。

■食　事

- お弁当のお申し込みをされた方には、受付にてお渡しいたします。詳細はホームページをご覧ください。
- お弁当の容器は15時まで5号館4階ラウンジにて回収いたします。それ以降は各自でお持ち帰りください。
- 当日の販売はいたしません。ご了承ください。
- 当日会場内に、昼食を購入できる売店などはございませんが、徒歩10分弱程度の所に、最寄りのコンビニエンスストアがあります。
- 自動販売機は、5号館 4階 ラウンジ（交流スペース）内にございます。

■書籍販売・展示

【場　　所】 5号館 4階 ラウンジ
交流スペースと併設しております。是非お越しください。

■託児のお申し込みされた方へ

【場　　所】 1号館 5階 15F 教室（受付近く）

- お申し込みをされた方は、受付までお申し出ください。
- お申込み内容の変更・キャンセルのご連絡は2025年8月24日（日）12：00までです。期限後のご連絡の場合、ご希望をお受けできない場合がございます。ご了承ください。
- 託児業者による食事・おやつ・飲物等の提供はございませんので、各自でご用意をお願いいたします。その他お子様に必要な物（おむつ・おしり拭き・着替え等）も各自でお持ち込みいただきますようお願いいたします。
- 集団託児のため、体調不良（発熱・水疱瘡・インフルエンザなどの感染症の病気）のお子様のお預かりお断りさせていただいております。ご理解の程お願いいたします。そのほかご不明な点は、大会事務局（2025jhpc@gmail.com）までご連絡ください。

■総　会

【日　時】 8月30日（土） 13：40～14：40

【場　所】 5号館 5階 55A 教室

総会の時間内に、学会賞などの表彰も行われる予定です。

■臨床心理士継続研修の申請手続き

大会参加証及び領収証が、大会参加の証明として使用できます。大切に保管し、各自で申請をしてください。

■その他の注意事項

- 公共交通機関でお越しください（大学構内の駐車場は原則的に使用できません。特別なご事情がある場合は、大会準備委員会事務局までご連絡ください）。
- 会場内は禁煙です。

■大会事務局の連絡先

日本人間性心理学会 第44回大会準備委員会事務局

〒480-1197　愛知県長久手市片平二丁目9 愛知淑徳大学長久手キャンパス 学生相談室
並木 崇浩（大会会場は星が丘キャンパスです）
E-Mail：2025jhpc@gmail.com

大会ウェブサイト：https://2025.c-jahp.com/

参加者の皆さまへ

■発表について

発表者が発表して良かったと思える大会を目指しています。真剣に議論をしながらも、発表者が元気になって、日常生活や日々の実践・研究に帰っていくことのできる時間になればと、願っています。そのために、発表時間や形式などを、出来る限り発表者の希望に合わせて、選んでいただく形を採用しました。出来る限り話しやすい場を設定できるよう、座席の移動などについて、皆様のご協力をお願いいたします。

また、ポスター発表会場は、30日（土）9：00～31日（日）17：00まで開放しています。在席時間以外にも交流できるよう付箋を準備いたしますので、ご活用ください。付箋にはご所属と名前を記載し、発表者が展示して良かったと思える様なメッセージをお願いします。付箋を希望しない方の発表にはお知らせが掲示されていますので、付箋の貼付はご遠慮ください（在席時間中にご交流ください）。

■準備委員会企画　コミュニティ型大会

―「コミュニティ型大会」宣言―

人間性心理学会は「人間性を理解し、その回復と成長に貢献することを通じて、社会的に責任を果たし得る心理学の研究と実践を推進することを目的」としています。当学会は学会である以上、大会においてはあくまで学術的で真剣な議論がなされるべきであることは間違いありません。しかしながら、それだけで上記の目的が十分に達成されるでしょうか。

私たち準備委員会はこれまで見てきました、人と人の出会い、緩やかなつながりを大切にする日本人間性心理学会の大会を。そしてどうやら、私たちより上の世代の先生方も、この学会の魅力をそのようなところに感じられてきたことが、近年のオンラインで開催されます会員の大グループ「humanistia」や、広報委員会のインタビュー動画などから明らかになってきました。

そこで私たち準備委員会は、人間性心理学のアイデンティティ、オリジナリティが求められるこの時代だからこそ、この学会が大切にしてきた、この伝統、この雰囲気、この風土を、最大限のリスペクトを込めて、改めて、再び、提案したいと思います。ここに、日本人間性心理学会第44回大会を「コミュニティ型大会」とすることを宣言いたします。

■はじまりの会（ラージグループ①）：

8月29日（金）　9：00～10：00（5号館 4階 ラウンジ）

人間性心理学の歴史を紐解くとき、エンカウンター・グループ・ワークショップの存在は避けて通れないでしょう。エンカウンター・グループ・ワークショップは、少人数のものから始まり、「コミュニティ・ミーティング」や「ラージグループ」と呼ばれる、より大規模のものへと発展をしていった経緯があります。本大会では、参加者皆さんでコミュニティ感を醸成していくこと、その土壌作りを目的として、初日の朝に「はじまりの会（ラージグループ①）」を開催します。お時間の都合から、一般のエンカウンター・グループの様に、濃密な対話は難しいかもしれませんが、人間性心理学を味わうこの3日間の始まりを、ぜひ皆さんでご一緒できればと思っております。

■コミュニティ型企画（café & bar コムニタス）：

8月29日（金） 17：30～18：30（5号館 4階 ラウンジ）

こちらの企画は、2013年に大正大学で開かれた第32回大会の「welcome パーティー」のリスペクト企画だと思っています。初日のワークショップの後に開催される当企画ですが、広い会場に、お茶とお菓子をご用意し、幾つもの小グループを作りたいと思います。「この指とまれ！」形式で、ワークショップの感想を分かち合っても良いですし、「フォーカシング」「スクールカウンセリング」「大学院修士課程」等の、惹かれるキーワードのグループに参加するも良いです。準備委員会の方から、いくつかのグループをご提案しますが、参加者の皆様からのご希望も、熱くお待ち申し上げます。

■交流スペース：

会期期間中（5号館 4階 ラウンジ）

本大会では、学会期間中を通してのワークショップ感、コミュニティ感、ゆるやかなつながり感の醸成を目的として、会員同士の humanistic な交流の場を提供します。これまでの大会が大事にしてきた交流スペースの雰囲気に加え、静かに休憩するエリア、おしゃべりエリア（お菓子や飲物を準備しています）、アートエリア（お絵かきや展示ができます）、ミュージックエリア（電子ピアノや簡単な打楽器等を準備する予定です）等、参加者の皆様が交流しやすいような構造を工夫する予定です。皆様が心地よく過ごせるように、ご協力ください。皆様のご参加をお待ちしております。

■おわりの会（ラージグループ②）：

8月31日（日） 16：00～17：00（5号館 4階 ラウンジ）

「エンカウンター・グループは全体会に始まり全体会に終わる…」。Rogers のエンカウンター・グループを国内に紹介された畠瀬稔先生のお言葉です。お時間の都合もありますので、やはり一般のエンカウンター・グループ・ワークショップの様な濃密な対話は難しいでしょう。しかし、人間性心理学を味わうこの3日間を、皆さんがどの様に体験されたか、そして皆さんがどの様なお気持ちで、日常生活へと還って行かれるか、ぜひみなさんでこれらを分かち合い、また来年の大会での再会に思いを馳せたいと思っています。「エンカウンター・グループ？ラージグループ？何それ？」という方もぜひご参加ください。最後のひとときを、皆さんで分かち合いましょう。

発表者へのご案内

■発表時間について

発表時間と発表会場を確認し、遅れないようにしてください。

■配布資料について

- 配布資料は必ず自分で作成し、発表日、発表教室、題目、発表者氏名を必ずご記入の上、必要部数を印刷して持ってきてください。
- 配布資料は、開始時に各教室の会場係へお渡しください。
- 事例研究の配布資料は、必ず発表者が回収し、責任をもって処分してください。
- 大会当日のデータ変更・増刷は、事務局では受け付けておりません。

■発表・企画取消の場合

不測の事情により発表取消や変更をせざるを得ない場合は、必ず書面またはメールにて日本人間性心理学会第44回大会準備委員会事務局（2025jhpc@gmail.com）にご連絡ください。

（口頭発表）

■発表機材について

- 発表時にPCを利用される方は、各自でPCをご持参ください。お持ちでない場合等は事前にお問い合わせください。
- PCで会場の機材に接続し、パワーポイントの投影や動画などの再生をされる方は、ご自身のPCにHDMIの接続端子が付いているかどうかをご確認ください。もし付いていない場合は、変換アダプタをご自身でご準備ください。
- 発表開始までに、各教室の会場係に発表機材の使用を申し出て、動作確認をしてください。
- 発表機材の動作不良の場合に備えて、配布資料もご用意ください。

■座長との打ち合わせ

- 発表者は事前に座長と打ち合わせすることを推奨します。
- 論文集以外に配布資料がある場合は、事前に担当座長に資料をお送りください。連絡先がご不明の場合は学会事務局に問い合わせください。

■座席について

- 会場によりますが、座席をスクール形式（発表者とフロアーが対面する形）以外の形（ロの字形式、島型形式など）にすることも可能です。座長の先生ともご相談ください。ご自身で動かしていただいて構いませんが、発表前後のプログラムへのお心づかいもお願いします。
- 出来る限り話しやすい場を設定できるようお手伝いしますので、その他ご希望がございましたら、お知らせください。ご希望に添えない場合もありますので、ご了承ください。

（ポスター発表）

■発表方法について

- ポスター発表は、8月31日（日）で、会場は1号館 2階 ラウンジです。
- 責任在席時間は60分です。指定された時間（11：00～12：00）の間は、必ずポスター発表会場のポスターの前に待機して、参加者とディスカッションをしてください。指定された時間以外は、在席する義務はありません。
- 演題番号、テープは事務局で用意します。
- 掲示スペース（横90㎝×縦180㎝）にA0サイズ相当の模造紙一枚（A4またはA3サイズ数枚でも可）でポスターを掲示してください。
- 発表会場は31日（日）17：00まで開場しています。
- 希望される方は、在席時間以外も掲示することが出来ます。在席時間以外にも交流できるよう付箋を準備いたしますので、ご活用ください。付箋を希望しない場合は、準備委員までお知らせください。発表者が展示して良かったと思える様な、メッセージをお願いします。

■ポスター掲示と撤去

- ポスターは、各自で30日（土）9：00～31日（日）10：00までに貼ってください。
- ポスターは、各自で31日（日）17：00までに撤去してください。撤去されなかった掲示物は、事務局にて処分します。

自主シンポジウム企画者へのご案内

■自主シンポジウム企画の基本方針

- 自主シンポジウムに対して大会準備委員会が行うことは、開催の機会となる「場所」を提供することです。運営につきましては各企画者の責任の下で行なってください。
- 企画者は、自主シンポジウム開始時に参加者に対して写真撮影や録画録音などを行わないよう周知してください。
- 企画者が写真撮影や録画録音を行う場合には、その旨を同時に参加者へアナウンスしてください。

■開催時間について

開催時間と会場を確認し、遅れないようにしてください。

■配布資料について

- 配布資料は必ず自分で作成し、発表日、発表教室、題目、発表者氏名を必ずご記入の上、必要部数を印刷して持ってきてください。
- 配布資料がある場合は、各自で参加者へ配布をお願いします。
- 事例研究の配布資料は、必ず発表者が回収し、責任をもって処分してください。
- 大会当日のデータ変更・増刷は、事務局では受け付けておりません。

■発表・企画取消の場合

不測の事情により発表取消や変更をせざるを得ない場合は、必ず書面またはメールにて日本人間性心理学会第44回大会準備委員会事務局（2025jhpc@gmail.com）にご連絡ください。

■発表機材について

- 発表時にPCを利用される方は、各自でPCをご持参ください。お持ちでない場合等は事前にお問い合わせください。
- PCで会場の機材に接続し、パワーポイントの投影や動画などの再生をされる方は、ご自身のPCにHDMIの接続端子が付いているかどうかをご確認ください。もし付いていない場合は、変換アダプタをご自身でご準備ください。
- 発表開始までに、各教室の会場係に発表機材の使用を申し出て、動作確認をしてください。
- 発表機材の動作不良の場合に備えて、配布資料もご用意ください。

■座席について

- 会場によりますが、座席をスクール形式（発表者とフロアーが対面する形）以外の形（ロの字形式、島型形式など）にすることも可能です。座長の先生ともご相談ください。ご自身で動かしていただいて構いませんが、発表前後のプログラムへのお心づかいもお願いします。
- 出来る限り話しやすい場を設定できるようお手伝いしますので、その他ご希望がございましたら、お知らせください。ご希望に添えない場合もありますので、ご了承ください。

座長の先生方へのご案内

■進行について

- 座長の仕事は、司会進行、発表者とフロアのディスカッションのファシリテート、コメント等です。事前に発表者と打ち合わせをして、ご自身のスタイルでお役をおつとめください。滞りのない進行をお願いします。
- 担当の研究発表の30分前までに、受付に必ずお立ち寄りください。出席確認をさせていただきます。その後セッション開始の5分前までに各会場の座長席に、ご着席ください。
- 時間になりましたら、セッションの開始をお願いいたします。
- 発表前に、座長から携帯電話の使用、写真撮影や録画録音の禁止について、アナウンス、確認をお願いします。
- 時間内に発表が終わるようにご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

■発表について

発表者が発表して良かったと思える大会を目指しています。真剣に議論をしながらも、発表者が元気になって、日常生活や日々の実践･研究に帰っていくことのできる時間になればと、願っています。

■座席について

会場によりますが、発表者には座席をスクール形式（発表者とフロアーが対面する形）以外の形（ロの字形式、島型形式など）にすることも可能と伝えております。発表者とご相談の上、参加者の皆様へご協力のお願いをしていただく等、お声掛けをお願いします。また、発表前後のプログラムへのお心づかいもお願いします。

■その他

- 諸事情により、万一座長を務めることができなくなった場合には、大会事務局（2025jhpc@gmail.com）までご連絡ください。
- 座長の先生方には、座長ご担当当日に昼食をご用意しております。座長をされる方はご担当当日12：00以降に座長控室（15A：1号館5階受付の近く）にお越しください。

大会準備委員会企画・
ロジャース賞受賞記念講演一覧

大会準備委員会企画①　シンポジウム「10年後を考える」

概要は p34 に掲載

トピック1　人間性心理学と公認心理師

日　　時：8月30日（土）15：00～17：00

会　　場：5号館 5階 55B

話題提供：上西 裕之（大阪大谷大学）、金子 周平（九州大学）、
髙橋 大樹（福間病院）、三國 牧子（九州産業大学）

指定討論：松本 剛（神戸親和大学）

進行・企画立案：山根 倫也（関西大学大学院心理学研究科）

大会準備委員会企画②　シンポジウム「10年後を考える」

概要は p35 に掲載

トピック2　人間性心理学と平和

日　　時：8月30日（土）15：00～17：00

会　　場：5号館 5階 55C

話題提供：姜 潤華（東亜大学）、吉川 麻衣子（沖縄大学）、
田中 将司（東海大学）

指定討論：中田 行重（関西大学）

進行・企画立案：田中 将司（東海大学）

大会準備委員会企画③　海外招聘講演

概要は p36 に掲載

講演　紡ぎ：ニュージーランドと日本における PCA の共通点と相違点

Interweaving Threads：Shared and divergent perspectives about the PCA in New Zealand and Japan

日　時：8月31日（日）13：00～16：00

会　場：5号館 5階 55A

登壇者：Brian Rodgers（オークランド大学）、
髙橋 紀子（災害地域支援研究所）、押江 隆（西南学院大学）

司　会：並木 崇浩（愛知淑徳大学 学生相談室）

通　訳：山崎 和佳子（iEFT Japan ／お茶の水女子大学）
矢吹 麻理奈（お茶の水女子大学大学院 人間発達科学専攻）

ロジャース賞受賞記念講演①

概要は p40に掲載

人間性心理学が必要とされる、ということについての一省察
―ある30代カウンセラーの場合―

日　時：8月30日（土） 10：40～11：40

会　場：5号館 5階 55A

講　師：新村 信貴（愛知淑徳大学 学生相談室）

司　会：佐竹 圭介（山口大学）

ロジャース賞受賞記念講演②

概要は p42に掲載

パーソンセンタードの本質とは何か？

日　時：8月31日（日） 10：40～11：40

会　場：5号館 5階 55A

講　師：永野 浩二（追手門学院大学 心理学部）

司　会：金子 周平（九州大学）

ワークショップ一覧

8月29日（金） 10：30～17：00　　於：愛知淑徳大学 星が丘キャンパス

コース	テーマ	講　師	会　場	ページ
WS-1	日常におけるトラウマケアの知識と配慮 ―トラウマを刺激しない・余計に辛い思いをさせないために―	浅井 伸彦	5号館 5階 55B	44
WS-2	「私の研究」の作り方 ―研究目的の立て方から研究法の選び方まで	白井 祐浩	5号館 2階 52A	45
WS-3	絵本作りプログラム	竹田 一義	5号館 2階 52B	46
WS-4	竹内敏晴氏の足跡から学ぶ、 セラピスト・トレーニングの実際	定行 俊彰 中井 美彩子	5号館 3階 53B	47
WS-5	セラピスト・フォーカシング	吉良 安之	5号館 3階 53C	49
WS-6	心理臨床におけるアートやイメージの活用	松下 智子	5号館 3階 53D	50
WS-7	一から学ぶジェンドリン哲学： 心理臨床と哲学の接点	三村 尚彦	5号館 5階 55C	51
WS-8	オープンダイアローグの臨床哲学を生かした 事例検討	大石 英史	5号館 3階 53E	52
WS-9	ゲシュタルト療法のエッセンスとその臨床応用	中尾 文彦	5号館 3階 53F	53
WS-10	私がプロデュースしているフォーカシングの特色 ～フォーカシングαや各種 iFocusing ～	池見 陽	5号館 3階 53A	54
WS-11	繊細な人のためのスピリチュアル・セルフケア	串崎 真志	5号館 3階 53G	55
WS-12	クロスカルチャー・エンカウンターグループ	三國 牧子 Brian Rodgers	1号館 3階 13A	56

自主シンポジウム一覧

8月30日（土）　10：40～12：40

No	タイトル・発表者	会　場	ページ
S-01	表現アート体験を通じた対人援助職の学び ○松永 佳子[1)]、湯谷 奈緒子[2)]、小坂 淑子[3)] 1）豊田工業高等専門学校 学生サポート室、2）大東文化大学 学生相談室、 3）北海道大学 学生相談総合センター	1号館 3階 13B	58
S-02	ジェンドリン哲学を介したフォーカシングと 認知神経リハビリテーションの接点と展開 企画・司会：三宅 麻希[1)] 話題提供：矢野 恵夢[2)]、平野 智子[3)]、三宅 麻希[1)] 指定討論：三村 尚彦[4)]、木村 正志[5)] 1）四天王寺大学、2）摂南総合病院、3）関西医科大学、4）関西大学、5）一樹福祉会	5号館 2階 52A	59
S-03	私と PCA ～大切にしたいことを語り合おう～ 司　会：野田 諭[1)] 話題提供：野田 諭[1)]、本山 智敬[2)]、大島 利伸[3)] 1）鳥取短期大学、2）福岡大学 人文学部、3）南山大学附属小学校	5号館 2階 52B	60
S-04	重要な過去経験の言語化と言語化以前の諸感覚 ―ライフストーリー生成：未完了のプロセス・絵画・旅・自然― 企画・司会：高松 里[1)] 話題提供：土井 晶子[2)]、竹田 一義[3)]、井内 かおる[1)]、木村 太一[4)] 指定討論：森岡 正芳[5)] 1）一般社団法人 ライフストーリー・バンク、2）神戸学院大学、 3）一般社団法人 いろどりあつめ、4）福岡大学、5）立命館大学	5号館 3階 53A	61
S-05	不登校・引きこもりの子どもは何故増えているのか 企　画：中村 紫乃[1)2)]、浅枝 庸[1)]、鎌田 政志[1)]、白井 祐浩[1)]、 豊平 さとみ[1)]、吉田 泰江[1)]、大石 英史[1)] 司　会：吉田 泰江[1)] 話題提供：豊平 さとみ[1)] 1）NPO 法人しののめフリースクール、2）鹿児島県教育庁	5号館 3階 53B	62
S-06	身体の「精神」病理学試論 ―妊娠妄想の身体化／「声」をもらうこと― 司会・話題提供：田代 順[1)] 話　題　提　供：西澤 有喜子[2)] 1）ナラティヴ・アプローチ研究室、2）NPO 法人 碧き水の里	5号館 3階 53C	63

No	タイトル・発表者	会　場	ページ
S-07	産業領域におけるフォーカシングの活用と実践 司会・進行：越川 陽介[2)] 話題提供：竹田 悦子[3)]、佐藤 浩[4)]、水本 正志[5)] 指定討論：森川 友子[6)]、内田 利広[1)] 1）龍谷大学、2）関西医科大学、3）労働衛生コンサルタント事務所オークス、 4）イノベーション・オブ・ライフ、5）一般財団法人京都工場保健会、6）九州産業大学	5号館 3階 53D	64
S-08	オープンダイアローグとトラウマインフォームドケアから ヒューマニスティックなアプローチを再考する 司会・話題提供：浅井 伸彦 一般社団法人国際心理支援協会	5号館 3階 53E	65
S-09	臨床家の Personal Development を考える　その2 ～自己信頼・評価の源泉を「もう一度」内側に育む～ 司会・話題提供：永野 浩二[1)]、河﨑 俊博[2)] 1）追手門学院大学、2）大阪大谷大学	5号館 3階 53F	66
S-10	プロセスの開示を構成するコミュニケーション ―支え合える人間関係の構築に向けて― 企画・話題提供：水野 節子[1)] ファシリテーター：水野 節子[1)]、鈴木 由子[2)] 1）共感 Empathy、2）AMBOS	5号館 3階 53G	67

口頭発表一覧

8月30日（土）

1号館 3階 13B

No	タイトル・発表者	座　長	時　間	ページ
O-01	介護老人保健施設における高齢者への PCA 表現アート セラピー、リモートグループワークからみえるもの 三輪 ゆうこ（アトリエ蓮根庵、介護老人保健施設アルボース）※連名	松下 智子	9：30～ 10：30	70

8月30日（土）

5号館 2階 52A

No	タイトル・発表者	座　長	時　間	ページ
O-02	フォーカシングの習熟度が日常生活に及ぼす効果と要因 ――年間の変化のプロセス― 藪下 ひろみ（龍谷大学大学院 文学研究科 臨床心理学専攻 博士後期課程）	堀尾 直美	9：30～ 10：30	71

8月30日（土）

5号館 2階 52B

No	タイトル・発表者	座　長	時　間	ページ
O-03	依存症臨床におけるパーソン・センタード・アプローチの意義 加藤 敬介（堀クリニック）	髙橋 大樹	9：30～ 10：30	72

8月30日（土）

5号館 3階 53A

No	タイトル・発表者	座　長	時　間	ページ
O-04	粘土を使ったフォーカシングの実践例の検討 吉良 安之（九州大学）	矢野 キエ	9：30～ 10：30	73

8月30日（土）

5号館 3階 53B

No	タイトル・発表者	座　長	時　間	ページ
O-05	学びの多様化学校における居場所づくりの過程の心理的支援 石倉 篤（東京未来大学）	山口 祐子	9：30～ 10：30	74

8月30日（土）　5号館 3階 53C

No	タイトル・発表者	座　長	時　間	ページ
O-06	生きづらさを抱えた人々の当事者研究について アクターネットワーク理論を用いて検討する 村澤 和多里（札幌学院大学）	高松 里	9：30～ 10：30	75

8月30日（土）　5号館 3階 53D

No	タイトル・発表者	座　長	時　間	ページ
O-07	過敏型自己愛傾向を有する人のフォーカシング ～20代女性へのトライアルフォーカシング事例～ 吉井 真也（九州産業大学大学院 国際文化研究科）	三宅 麻希	9：30～ 10：30	76

8月30日（土）　5号館 3階 53E

No	タイトル・発表者	座　長	時　間	ページ
O-08	看護学校におけるエンカウンターグループでの オープンダイアローグ的対話実践 三浦 直樹（久留米大学）	本山 智敬	9：30～ 10：30	77

8月30日（土）　5号館 3階 53F

No	タイトル・発表者	座　長	時　間	ページ
O-09	初心セラピストの対人援助観・職業倫理観を中心とした 職業的発達に関する質的研究（第一報） 草岡 章大（東海学院大学 人間関係学部 心理学科）	河﨑 俊博	9：30～ 10：30	78

8月30日（土）　5号館 3階 53G

No	タイトル・発表者	座　長	時　間	ページ
O-10	新人看護師研修におけるビジョン・セッション実施の試み ―初期不安の緩和と仲間づくりとゼロ次予防― 野村 陽子（みなと医療生活協同組合 協立総合病院、 東亜大学大学院 総合学術研究科 臨床心理学専攻）	山根 倫也	9：30～ 10：30	79

8月30日（土）

5号館 5階 55B

No	タイトル・発表者	座　長	時　間	ページ
O-11	TAE セッション過程のモデル生成に関する検討 ―振り返りインタビューの質的分析を中心として― 山下 佳久（川村学園女子大学）	得丸 智子	9：30～ 10：30	80
O-12	臨床心理面接における暗黙的な側面と構成 ―留年生とのあいだでみられたいきいきとした感じと相手への体験― 山﨑 暁（信州大学 学生相談センター）	末武 康弘	10：40～ 12：40	81

8月30日（土）

5号館 5階 55C

No	タイトル・発表者	座　長	時　間	ページ
O-13	ある職場の心理職は事例検討法としての継続的な PCAGIP 法をどのように体験するようになるか？ 中田 行重（関西大学 人間健康学部）※連名	松本 剛	9：30～ 10：30	82
O-14	PCA の源流についての検討（4） ―正木正と畠瀬稔、村山正治との関係をめぐって― 児玉 龍治（龍谷大学）	飯長 喜一郎	10：40～ 12：40	83

8月31日（日）

5号館 2階 52A

No	タイトル・発表者	座　長	時　間	ページ
O-15	サドベリー教育における対話実践の教育的意義 ―PCA・OD との比較を通じて― 渥美 藍（神戸学院大学 心理学研究科）※連名	大石 英史	9：00～ 10：30	84
O-16	クラウニングにおける「欠点が魅力に変わる」プロセスの 検討：人間性心理学からみた「道化性」の臨床的意義 岡村 心平（神戸学院大学 心理学部）	田村 隆一	10：40～ 12：10	85

8月31日（日）

5号館 2階 52B

No	タイトル・発表者	座　長	時　間	ページ
O-17	統合型スーパービジョンモデルを援用したカウンセラーの発達プロセスに関する探索的研究 相澤 秀一（関西大学大学院 心理学研究科 心理学専攻 博士後期課程）	望月 洋介	9：00～10：30	86
O-18	セラピスト・フォーカシングにおけるケース理解の深まりとトレーニングへの応用の可能性 矢野 キエ（大阪キリスト教短期大学）※連名	平野 智子	10：40～12：10	87

8月31日（日）

5号館 3階 53A

No	タイトル・発表者	座　長	時　間	ページ
O-19	不登校問題を考えるXIII ～心理専門職養成課程の授業改善の試みから～ 寺田 道夫（東海学院大学）	大島 利伸	9：00～10：30	88
O-20	不登校と学校文化を考える ～しんどい子に視点をあてた学校・授業づくり～ 進藤 昌浩（兵庫県姫路市立大的中学校）	田中 将司	10：40～12：10	89

8月31日（日）

5号館 3階 53B

No	タイトル・発表者	座　長	時　間	ページ
O-21	カウンセリングへの抵抗が強い大学院生を修了まで支えた事例 ～見立ての失敗・修正を経て見えてきたこと～ 奥田 綾子（山形大学 保健管理センター 農学部学生相談室）	小坂 淑子	9：00～10：30	90
O-22	橋本病と ASD と強い不安を抱え、カウンセリングでは改善しないと話した高校生男児が把握感を得るまでの一例 坂本 和久（CBT センター、パームこどもクリニック）	松井 幸太	10：40～12：10	91

8月31日（日）

5号館 3階 53C

No	タイトル・発表者	座　長	時　間	ページ
O-23	ロジャーズの臨床哲学を探究する ―マルクスの用語「疎外」を手がかりとして― 泉野 淳子（専修大学 人文科学研究所）	池田 豊應	9：00～ 10：30	92
O-24	効果検証に着目した PCAGIP 法研究のナラティブ・レビュー： 今後の展開に向けた示唆 恒松 聡一朗（九州ルーテル学院大学）	内藤 裕子	10：40～ 11：10	93
O-25	過剰適応傾向の人への セルフ・コンパッションプログラム作成の試み 濱村 星花（九州産業大学大学院 国際文化研究科）	内藤 裕子	11：10～ 11：40	94

8月31日（日）

5号館 3階 53D

No	タイトル・発表者	座　長	時　間	ページ
O-26	日常生活を圧倒する内的イメージへのコンタクトと 気づきのプロセス ―専門家同士のピアワークの音声録から― 吉野 真紀（日本福祉大学 教育・心理学部 心理学科）※連名	筒井 優介	9：00～ 10：30	95
O-27	セラピーにおける主体についての心理臨床的考察 廣瀬 幸市（鹿児島大学大学院）	森岡 正芳	10：40～ 11：40	96

8月31日（日）

5号館 3階 53E

No	タイトル・発表者	座　長	時　間	ページ
O-28	紙媒体同人誌の実際と特徴 ―コミュニティ形成の諸要因― 高松 里（一般社団法人ライフストーリー・バンク）※連名	永原 伸彦	9：00～ 10：30	97
O-29	絵本作りプログラムの開発及び心理的意義 板東 充彦（跡見学園女子大学 心理学部 臨床心理学科）※連名	石田 妙美	10：40～ 11：40	98

8月31日（日）

5号館 3階 53F

No	タイトル・発表者	座　長	時　間	ページ
O-30	休学・留年経験をもつ学生のグループ活動実践 ―共同調整の過程に注目して― 木内 理恵（法政大学 多摩学生相談室）	並木 崇浩	9：00～ 10：30	99
O-31	非意図的クリアリング・ア・スペースと体験過程の狭窄 星加 博之（武庫川女子大学 オープンカレッジ）	高橋 寛子	10：40～ 11：40	100

8月31日（日）

5号館 3階 53G

No	タイトル・発表者	座　長	時　間	ページ
O-32	東京都スクールカウンセラー大量雇止めの 構造的問題に関する多面的分析 新田 泰生（神奈川大学 人文学研究所）	内田 利広	9：00～ 10：30	101
O-33	PCA を活かした保育者支援 ～保育文化とファシリテーション～ 三國 牧子（九州産業大学 人間科学部）※連名	浅井 伸彦	10：40～ 11：40	102

8月31日（日）

5号館 5階 55B

No	タイトル・発表者	座　長	時　間	ページ
O-34	限界状況における幸福の様相論からみた 主観的幸福感尺度の課題 松﨑 洋子（九州産業大学大学院 国際文化研究科国際文化専攻 臨床心理学研究分野）	小野 真由子	9：00～ 10：00	103
O-35	ロゴセラピーの現象学的基礎 ―フランクルとフッサールにおける心理学主義批判の接点― 赤木 裕昭（無所属）	竹井 夏生	10：40～ 11：40	104

ポスター発表一覧

8月31日（日）11：00～12：00　　1号館 2階 ラウンジ

No	タイトル・発表者	ページ
P-01	回復過程における自傷行為の傷跡の意味 鈴木 茜（一般財団法人竹田健康財団 竹田綜合病院 精神科心理室）	106
P-02	地域若者サポートステーションにおける専門職のジレンマについての研究 星野 秀治（旭川市立大学）	107
P-03	長期フォローアップからみた学生を対象としたＴグループの意義 ～マトリックス分析を通して～ 川島 惠美（関西学院大学人間福祉学部）※連名	108
P-04	反応スタイルとフォーカシング的態度の精神的健康への影響の比較 酒井 久実代（和洋女子大学 人文学部 心理学科）	109
P-05	女子大学生の人生観および人生観獲得までのプロセス ―TEM と TAE による分析― 浦田　優子（法政大学大学院 人間社会研究科 博士後期課程）	110
P-06	職場での人間関係構築の際に抱く若年労働者の感情 ―インタビュー調査の質的研究によるカテゴリー生成― 山口 和代（南山大学 総合政策学部 総合政策学科）※連名	111
P-07	青年期女性のジェンダーステレオタイプ形成に影響を及ぼす要因についての検討 峰岡 ひかり（九州産業大学 国際文化学部 臨床心理学研究分野）	112
P-08	境界性パーソナリティ傾向と防衛機制及び家族イメージに関する文献レビュー 川瀬 春音（文教大学 人間科学研究科 臨床心理学専攻）	113
P-09	人間的成長における修行体験の可能性 合田 歩（一般社団法人こころの臨床、香川県スクールカウンセラー）	114
P-10	初任教育相談員のリアリティショックに関する質的研究： 対話的自己論に基づく葛藤プロセスの素描 田中 寿夫（淑徳大学 総合福祉学部 実践心理学科）	115

No	タイトル・発表者	ページ
P-11	インターネットを通じて知り合った人と親密になっていく過程についての文献研究 肥高 早希（文教大学大学院 人間科学研究科 臨床心理学専攻 修士課程）	116
P-12	子育て中の母親の主観的幸福感に関する文献研究 金 恵梨耶（文教大学大学院 人間科学研究科 臨床心理学専攻）	117
P-13	EXP スケールの評定者の評定経験の特徴と自動評定との比較に関する探索的検討 福盛 英明（九州大学 キャンパスライフ・健康支援センター）※連名	118
P-14	メディアにおける自殺情報が青年の心身へ与える影響に関する文献調査 竹内 史穂子（文教大学大学院 人間科学研究科 臨床心理学専攻）	119
P-15	ベーシック・エンカウンター・グループにおける葛藤体験の意味 清澤 亜希子（追手門学院大学大学院）	120
P-16	不登校回復過程における転換点に関する研究 永吉 羊子（九州産業大学大学院 国際文化研究科 臨床心理学研究分野）	121

大会準備委員会企画

ロジャース賞受賞記念講演

ワークショップ

自主シンポジウム

口頭発表

ポスター発表

日本人間性心理学会　歴代大会一覧表

回	日　程	会　場	大会長※・準備委員長・副委員長※※	事務局長・次長※
1	1982年7月10日～11日	京都女子大学	畠瀬 稔	
2	1983年9月10日～11日	YMCA アジア青少年センター	水島 恵一	
3	1984年10月15日～16日	名古屋大学	村上 英治	
4	1985年10月19日～20日	日本女子大学	杉溪 一言	
5	1986年9月27日～28日	大阪大学人間科学部	梶田 叡一	
6	1987年9月11日～13日	法輪閣、団参会館	恩田 彰	星野 命
7	1988年9月1日～4日	明治学院大学横浜校舎	神保 信一	
8	1989年9月2日～5日	龍谷大学深草校舎	西光 義敞	畠瀬 直子
9	1990年9月6日～9日	東京家政大学狭山校舎	橋口 英俊	
10	1991年11月14日～17日	福岡大学セミナーハウス、九州大学教養部	村山 正治	野島 一彦
11	1992年11月5日～8日	東京大学山上校舎・安田講堂	見藤 隆子	広瀬 寛子
12	1993年9月2日～5日	大阪市立大学、大阪女学院短期大学	倉戸 ヨシヤ	倉戸 由紀子
13	1994年9月15日～18日	東京農業大学、文化服装学院	岸田 博	清水 幹夫
14	1995年9月14日～17日	愛媛大学教育学部、子規記念博物館	福井 康之	
15	1996年9月13日～16日	名古屋大学情報文化学部、大学院人間情報学研究科	伊藤 義美	
16	1997年9月12日～15日	文教大学越谷校舎	水島 恵一	上杉 喬
17	1998年9月12日～15日	追手門学院大学	小花和 昭介	井上 知子
18	1999年10月9日～11日	京都文教大学	越智 浩二郎※・林 昭仁	
19	2000年9月29日～10月1日	長崎純心大学	児島 達美※・大野 弘之	
20	2001年8月31日～9月3日	札幌学院大学	滝沢 広忠	
21	2002年9月20日～23日	神戸女学院大学	池見 陽	古今堂 紘
22	2003年7月19日～21日	山梨英和大学	林 昭仁※・駒米 勝利	鎌田 誠
23	2004年9月3日～5日	文教大学越谷校舎	上杉 喬※・秋山 胖	渡邊 忠
24	2005年9月23日～25日	九州大学箱崎地区文系キャンパス	野島 一彦	吉良 安之
25	2006年11月3日～5日	愛知学院大学日進キャンパス	池田 豊應※	石川 雅健
26	2007年11月23日～25日	仁愛大学	福井 康之※・駒米 勝利	鎌田 道彦
27	2008年8月1日～3日	関西大学千里山キャンパス	中田 行重	
28	2009年8月28日～30日	法政大学多摩キャンパス	清水 幹夫	
29	2010年9月24日～28日	熊本大学	藤中 隆久	
30	2011年10月8日～10日	愛知教育大学	原口 芳明	
31	2012年9月21日～23日	宇部フロンティア大学	酒木 保	小山 典子
32	2013年9月14日～16日	大正大学	日笠 摩子	青木 聡
33	2014年10月11日～13日	南山大学	津村 俊充	中村 和彦
34	2015年9月12日～14日	聖カタリナ大学	坂原 明	森平 准次
35	2016年8月26日～29日	九州産業大学	三國 牧子	
36	2017年9月8日～10日	東海学園大学名古屋キャンパス	石田 妙美	大島 利伸
37	2018年9月14日～16日	人間環境大学岡崎キャンパス	伊藤 義美	三後 美紀 石田 妙美※
38	2019年9月22日～23日	跡見学園女子大学文京キャンパス	松本 剛	髙橋 紀子
39	2020年9月4日～6日	群馬パース大学（オンライン開催）	榎本 光邦	上田 紋佳 藤木 大介※
40	2021年8月28日～29日、 9月5日	オンライン開催（事務局：九州大学）	金子 周平	山口 雄介
41	2022年9月4日 9月10日～11日	オンライン開催（事務局：京都橘大学）	中西 龍一	中西 美和
42	2023年9月22日～24日	福井 AOSSA	坂井 祐円	小室 弘毅
43	2024年9月27日～29日	KDDI 維新ホール	大石 英史	押江 隆
44	2025年8月29日～31日	愛知淑徳大学 星が丘キャンパス	田中 将司 山根 倫也※※ 古賀 なな子※※	並木 崇浩 白﨑 愛里※ 新村 信貴※

日本人間性心理学会 第44回大会
プログラム・発表論文集

大会準備委員長：田中 将司

日本人間性心理学会 第44回大会準備委員会 事務局：
愛知淑徳大学長久手キャンパス 学生相談室 並木崇浩
〒480-1197　愛知県長久手市片平二丁目9
E-mail：2025jhpc@gmail.com

出　版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793　FAX：096-386-2025
https://secand.jp/



日本人間性心理学会　第44回大会準備委員会事務局

〒480-1197 愛知県長久手市片平二丁目9
愛知淑徳大学長久手キャンパス　学生相談室　並木崇浩
E-mail：2025jhpc@gmail.com